

## 第6回横浜観光ロゲイニング

### 1 概況

第6回横浜観光ロゲイニングに参加いただきありがとうございます。

今回のコースは、アートにあふれる横浜らしい雰囲気を感じてもらうため、見ても楽しいパブリックアートを中心に選択しました。

また、ロゲイニングの楽しさの1つであるナビゲーションしてチェックポイントに到達した時のうれしさを沢山味わっていただくため、チェックポイントを狭い範囲に集約して配置してみました。

この結果、ファミリークラスの平均獲得チェックポイント数は、昨年の14から20に増大、団体クラスも、平均21から28と各チームより沢山のチェックポイントを楽しんでいたことは今回のコース設定の良かった点です。

一方、南部のチェックポイントで、予定チェックポイントのアートが撤去されてしまっていたことは反省点です。

次回以降、より直前での事前確認を徹底していきます。

### 2 ウォーククラス、ファミリークラス

横浜観光ロゲイニングでは、初めて団体クラスと異なるチェックポイントを選択した地図を準備と、ウォーククラスの新設を行いました。

これは、これらのクラスの時間3時間でも沢山楽しんでもらいたいという背景がありました。

各クラスとも、沢山の訪問いただいたチェックポイントは、今回のコースの目玉としたみなとみらい地区を中心としたパブリックアートを選択いただいております、各チームとも今回のコースの意図通りの横浜を楽しんでいただけた様子がうかがえます。

今回新設のウォーククラスで775点を獲得されたSAKURAチームのルート図を見ると、山手地区、みなとみらい地区、野毛地区と、チェックポイントが密集した地区を効率的にまわり、その間を公共交通機関でつなぐルートになっていることが分かります。歩いていると思われるルートの直線距離合計は約9Km程度に収まりますので、

ウオーククラスでも、3時間でもこの程度回ることが出来ています。

公共交通機関を効果的に利用し、近場のポイントを捨てて、遠くの密集地帯を攻めたことがポイントでした。

次に、ファミリークラスの参考として掲載した合計 815 点を獲得したカノーズチームのルートも同じように、公共交通機関を効果的に利用していることに特徴があります。

公共交通機関を利用することで、みなとみらい地区や、山手地区を一筆書きで効率的に回っています。

ウオーククラスとの違いは、近場のチェックポイントも走れることで丹念にまわっている点でしょうか。

### 3 団体クラス

各チームのルートを見ると、南部のエリアや、みなとみらい地区などのエリアでのまわり方は、それぞれ上位チーム大きく変わらないことが分かります。

得点を分けた一番大きな要因は、最初からコンプリートを念頭にまわったかどうかであったと思われます。

1位のまるきつぼ八チームは、ループを2回描く効率的なルート取りに、円熟味が感じられます。このチェックポイント一覧で、コンプリートできると判断できたことも熟練さを感じます。次回以降は、もっと練ったコース設定が必要そうですね。

次点の BLANKAS チームは、ルートを見る限り、もっとも走力があつたチームであつたと思わせるルートです。43番の二宮金次郎チェックポイントの取り方がちょっと出入りの無駄が多いルートになっており、このあたりが最終的な差になったと思われます。

外れたチェックポイントを同効率的に組み込んでいくかは、ロゲイニングの醍醐味です。

メガロス UK チームもほぼ同じルート取りですが、冒頭に記載のように、コンプリートを最初から狙うかどうかの判断で、みなとみらい地区の14や38を取りに行くプランとすることかどうかの判断が、点数差になったと思われます。

このあたりは、ロゲイニングのスタート前のプランの重要性を示しています。